

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

- IgH/FGFR3 (依頼コード No.11376・57071)
- IgH/MAF (依頼コード No.11377・57072)
- CKS1B (依頼コード No.1847・50003)

※ 弊社システムの都合により4桁と5桁のコードNo.があります。

受託開始日 2015年11月2日(月)受付分より

多発性骨髄腫 (Multiple Myeloma:MM) は様々な遺伝子の異常が蓄積して発症する形質細胞性腫瘍であり、特徴的なくいくつかの染色体異常が観察されます。分染法による染色体の分析には分裂中期像を必要としますが、多発性骨髄腫では分裂中期の細胞が得にくいいため、分裂間期核でのFISH解析が染色体検査の主体となっています。染色体異常は高二倍体と非高二倍体に大別され、前者は比較的予後が良好とされていますが、後者には染色体 14q32 (IgH 遺伝子領域) の転座が多く認められ、予後良好な t(11;14)、予後不良な t(4;14)、t(14;16) などが比較的高頻度に検出されます。また、del(13)/13q-、del(17p)、1q21 増幅なども予後不良な異常としてしばしば検出されます。

この度、t(4;14) 転座解析; IgH/FGFR3、t(14;16) 転座解析; IgH/MAF、1番染色体長腕(1q21) 増幅解析; CKS1B、のFISH検査3項目を新たに受託いたします。多発性骨髄腫患者の予後予測や、薬剤あるいは造血幹細胞移植などの治療効果のモニタリングに有用な検査となります。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社: 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
総合研究所: 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1  
☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play

Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis  
Medical Station

## 受託要領

検査項目名	IgH/FGFR3	IgH/MAF	CKS1B
依頼コードNo.	11376・57071	11377・57072	1847・50003
統一コード	8B344-0000-019-841	8B445-0000-019-841	8B317-0000-019-841
検体必要量	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度
容器	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 B-23	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 B-23	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 B-23
検体の保存方法	冷蔵、凍結不可	冷蔵、凍結不可	冷蔵、凍結不可
所要日数	5～10	5～10	5～10
検査方法	FISH法	FISH法	FISH法
検査実施料/判断料	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)

※骨髄液の採取について

穿刺の前に注射器管内をヘパリンで潤した後、ヘパリンを完全に排出。

穿刺液は採取後空気を入れてゆっくり転倒混和し(注射針を取りはずす)、専用容器(培養液入り)に約0.5mL入れ、ゆるやかに転倒混和して冷蔵保存。雑菌等が混入しないようお願いいたします。

【検査方法の参考文献】 稲澤 譲治：FISH実験プロトコール，128-136，1994。（秀潤社）